

平成15年全国放射線技師総合学術大会演題抄録集

演題番号 268

セッション P24 超音波

日時 11月22日(土) 11:10~12:05 示説会場B

演題名 消化管疾患における造影エコーの有用性

三重県 岡波総合病院

界外 忠之

要約 19例の消化管疾患に対しAgent Detection Imaging(ADI)モードを用いた造影エコーを行い、その血行動態について検討した。その結果、進行癌例では豊富で複雑な走行を示す腫瘍血管と、内部不均一な染影像が観察された。ポリープ状の形態を示した大腸腺腫と胃腺腫内癌の各1例では、腫瘍基部より放射状に広がる血管構築が認められ、均一な染影像が観察された。大腸炎例では肥厚した壁内に点状の染影がびまん性に観察された。また、均一な染影像の外周には筋層らしきリング状の不染域が認められた。ADIモードによる造影エコーは感度、時間・空間分解能がいずれも高く、詳細な血行動態の検討が可能であり、今後、消化管疾患においても鑑別診断や壁進達度の推測などにおいて有用な検査法となる可能性が示唆され